

報告事項1

平成26年度事業報告

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

本年度は4月に消費税が8%にアップしたことにより、駆け込み需要の反動で消費の低迷からスタートしました。政府の積極的景気対策と日銀の追加緩和などで景気は緩やかに回復し、一部大手企業では業績改善から昨年度以上のベースアップを決定するなど、デフレ脱却のための好循環が徐々に現実のものとなり始めたように思います。

しかし、中小企業を取り巻く環境は原価等の上昇で相変わらず厳しい状況が続いており、一刻も早い回復を期待しております。

私ども、名古屋中村法人会は、大きく変化する税制や経済環境の中で、会員等に適時適切な情報を届けるための「税務研修」、「経済・経営に関する講演会」や地域社会貢献事業等を実施し、多くの企業に参加をいただきました。

平成26年度に掲げた重点事項について、実施状況は次のとおりです。

1 税知識の普及を目的とする事業、納税意識の高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業

① 経験の浅い経理担当者向けの研修として「源泉所得税」、「会社取引をめぐる税務Q&A」②改正点を中心とした研修として「平成26年度改正税法説明会」「消費税法研修」、「相続税・贈与税研修」③決算の注意点の「決算期別説明会」等を開催いたしましたところ多くの会員の参加をいただきました。

また、女性部会は税に関する知識を深めるために、「相続税で困らないために」等の研修会を開催しました。

税制提言活動につきましては中村区選出の衆議院議員神田憲次氏ご本人と赤松広隆議員（秘書経由）に提言の要望と法人会活動の説明を行いました。

2 地域企業の健全な発展に資する経済や経営に関する講演会等の開催、地域社会の健全な発展を図るための事業

企業の健全な発展のための研修としては小林良正氏の「心を育てるもの」、飯田真弓氏の「税務署は見ていない」、森永卓郎氏の「今何が起きているのか？世界経済と日本経済」等、また、名古屋市内9法人会合同講演会としては、笹野高史氏の「待機晩成」、石原良純氏の「どうなってるの！最近の異常気象」と題して講演をいただきました。いずれの講演会も多くの参加をいただきました。

健康や危機管理の面からは愛知健康増進財団名誉診療所長水野氏から「健康診断の大切さ」について、そして名古屋中村税務署長黒川氏から「リスクマネジメント～会社を守るため～」、「人財育成～お父さんの叱り方～」について研修いただきました。

地域社会貢献活動としては地域親子100人以上の参加をいただき「太閤池の清掃活動」を実施するとともに「租税教室や生物多様性講座」を開催し、好評を得ました。

3 福利厚生事業

大同生命・AIUの経営者大型総合保険について、新たな推進目標値を達成すべく積極的にキャンペーンを実施しました。他に、AIUの経営保全プラン、アフラックのガン保険、三井住友海上火災保険の中小企業向け貸倒保証制度の推進、人間ドックの斡旋等を実施しました。

4 会員増強推進事業

会員数減少に歯止めがかからない状況が続いています。会員の廃業、休業、転出による退会が多数に上り、その上、名古屋駅前という好立地から新規設立法人が多く、法人会加入率の低下を招いています。そこで、新規の会員加入勧奨を行い法人会加入率の低下を阻止すべく各支部長を中心に支部役員、委員の協力のもと年2回、加入勧奨強調月間の事業を行いました。新規加入を上回る廃業、休業による退会が続いており、会員数は前年より減少しました。